

# ユニファイド コミュニケーションによる全国拠点間ビデオ会議で 意思決定の質とスピード、営業力を向上



**フィールズ株式会社**  
<http://www.fields.biz/>

キャラクター コンテンツ、遊技機、映像ソフトの企画開発、販売  
従業員数：628名（2009年3月31日現在）

導入ソリューション シスコユニファイド コミュニケーション

エンタテインメント性の高い遊技機やキャラクター コンテンツ、映像ソフトの企画開発、販売を行うフィールズは全国に 34 の拠点を構えており、本社の理念や意思を迅速かつ正確に各拠点の責任者に浸透させ、同社の営業力を強化する仕組み作りを模索していた。シスコのユニファイド コミュニケーションによるビデオ会議を導入することで、コミュニケーションの質とスピード、営業力の向上を実現した。

## 導入前の課題、検討事例

- ・ 全国 34 拠点に対して本部の意志を浸透させる仕組みが欲しい
- ・ コミュニケーションを強化し、現場の声を迅速に経営に反映したい
- ・ 簡単な操作で使えるビデオ会議を導入したい

## 導入効果

- ・ 内線通話と同等の操作で、ビデオ会議による双方向コミュニケーションが実現した
- ・ 本部-各拠点との朝礼ビデオ会議により、理念や意思の浸透、意思決定のスピードが向上し、質の高いコミュニケーションによる営業力向上が可能となった
- ・ 拠点間の連絡も密に行うことができ、同時に通信コストの削減効果も

## 1 導入のきっかけ—— 全社的な意識統一の下に 営業活動を行いたい

エンタテインメント性の高い遊技機をはじめ、キャラクター コンテンツや映像ソフトの企画開発、販売を行うフィールズは、全国に広がる取引先との連携を密にするため、本社と全国の 7 支社、26 支店を構えている。広い地域をカバーしながらも全社的に統一した企業理念、経営思想で運営を行うために、本社経営層と支社、または支店の責任者間で意思疎通の向上を図る必要を感じていた。本社の営業本部長と各支社および支店トップとの間にビデオ会議システムを構築し、コミュニケーションのスピードと質を向上する仕組みを構築した。

## 2 シスコを選んだ理由—— 既存システムとのシームレスな連携と、 コミュニケーション意欲を妨げない 利便性を重視

今回、シスコを選んだ理由としては、

- ・ すでに導入している Microsoft 製品とのシームレスな連携が行えること
- ・ 簡単操作でビデオ会議が行え、社員への展開が容易であること

などが挙げられる。

## 3 導入プロセス—— 内線電話と変わらない操作性の ビデオ会議システムを構築

本社および各支社、支店間を広域イーサネットに接続し、Cisco Unified Video Advantage と Cisco Unified IP Phone 7962G を組み合わせたビデオ会議システムを構築している。毎日行われる朝礼では、本社を含めた 34 拠点間でビデオ会議が可能となり、さらに各拠点の責任者間では内線としてビデオ会議を活用したコミュニケーションが行える環境が整っている。

## 4 導入効果——コミュニケーションの スピードが向上し、 業務に対する意識が変わった

- ・ 地方拠点との密接な双方向コミュニケーション環境が整った。
- ・ ビデオ会議を活用した朝礼により、常に本部を意識した営業活動が可能になった。
- ・ 従来は各拠点間で携帯電話を使った連絡を行っていたが、IP 電話化によって通信コストを削減。
- ・ コミュニケーション スピードの向上により、拠点間の意識統一がより強固になった。

## 5 今後の展開——全社員に ビデオ会議が可能な環境を構築し、 より密なコミュニケーションの 実現を目指す

- ・ 携帯電話と組み合わせて、いつでもどこでもビデオを使ったコミュニケーションを可能にしたいと考えている。
- ・ 現在は管理職層のみだが、導入済みのユニファイド コミュニケーションに全拠点の一般社員の電話機を収容していきたい。
- ・ システムを拡張し、支社、支店だけでなくグループ企業との間でもユニファイド コミュニケーションを利用できる環境を構築したい。
- ・ これらの施策を通して全社的なコミュニケーションをより密な状態へと高めたい。



## 導入の経緯～ 導入プロセス

## トップの意志を最小限の手間で全社員に伝えるシステム作り

フィールズ株式会社  
取締役  
コーポレート本部長  
伊藤 英雄 様



遊技機をはじめ、キャラクターコンテンツや映像ソフトなどのエンタテインメント性の高い製品の企画開発、販売を行う

おり、現場レベルではコミュニケーションスピードは速かったと考えています。しかし文字ベースのコミュニケーションだけでは細かなニュアンスが伝わらず、支店が独自な考えを持ってしまふなど意識の統一が妨げられてしまう場合があります。実際に顔を付き合わせたコミュニケーションに勝るものではなく、さらにトップの意図を末端までわかりやすく伝えるための仕組み作りという観点から、シスコのユニファイドコミュニケーション導入を決定しました。

フィールズでは、取引先との連携を密にするため、本社と7支社、26支店の計34拠点を全国に構えている。全国規模での活動を行うにあたり、全社的に統一した企業理念、経営思想による運営を強化したいと考えていた。このため同社では、月に1度の割合で支社および支店の責任者を本社に集め、本社経営層との間で意思の疎通を目的とした会議を行っていたが、企業経営にスピードが求められる昨今、さらにコミュニケーション速度の向上を目指し、本社の営業本部長と各支社および支店トップとの間にビデオ会議システムを構築することとなった。そこで選ばれたのが、シスコのユニファイドコミュニケーションである。

取締役コーポレート本部長の伊藤英雄氏は、導入のいきさつと、シスコに決めた理由を次のように語る。

「弊社はこれまでに、全社的に情報を共有するために基幹システムの刷新やWebのインターフェイスを活用した社内ポータル構築を行って

経営者の意図を現在全国に展開している34の拠点の社員に漏れなく伝えるということが最終的な目的ですが、その先駆けとして、まず営業本部長と各拠点のトップとの間で血の通ったコミュニケーションを実現するためのビデオ会議システムを導入しました」

システム導入に先駆けて伊藤氏はアメリカに渡り、シスコで使われているシステムを見学してその実用性を確かめたという。

「2000年頃にECサイトの立ち上げに関わった際にネットワークの勉強をしてシスコを知りました。単なるネットワーク構築だけでなく、その仕組みやシステムの活用方法まで学ぶ点は数多くありましたし、シスコで行われているコミュニケーションも実際に見学させていただきました。弊社ですでに導入していたMicrosoft製品とのシームレスな連携が行える点や、内線をかけるのと同じ操作でビデオ会議がすぐに行える点などが選択の決め手です」

## 導入効果

## 全社の意識統一を図り、さらにお互いを評価し合う仕事サイクルが出来上がった

現在は、本社と各支社、支店間を広域イーサネットで接続し、本社営業部と各拠点のトップが一堂に介してビデオ会議を行えるシステムを構築している。通常、34名が参加するビデオ会議は大がかりなシステムになるが、今回のソリューションは操作性と運用面を考慮し、かなり省力化されている。このシステム構築にあたっては、パートナー企業である日本ビジネスシステムズ株式会社様の協力が不可欠であったという。

「毎日9時から行われる朝礼では、本社側から自動呼び出しを行うことでビデオ会議の準備が整います。(利用フロー図を参照)。発言時には音声を自動識別して発言者の画面に切り替わるなど、非常に使いやすいものになっています。導入前は9時から仕事を開始するという意識だったものが、導入後は朝礼で報告や質問を行うために9時前にスタッフが自発的に集まって準備をするという意欲が見られるようになったことをはじめとして、仕事のサイクルが活性化されてきていると感じています」

そのほか、本社からの発言に対してその場で質問や意見交換が行えることにより、本社の意志が各拠点にスムーズに伝わるだけでなく、個々の拠点でどのようなことを考えているかが相互に分かることから、全体を通じた良い刺激が得られていると絶賛する。

	営業本部長側	各支社/支店側
7:30	ビデオ会議端末を自動呼び出し	
		IP電話の【ビデオ会議室】ダイヤルボタンを押す
	接続された順にテレビに16分割表示される	ビデオ会議に接続後、PCに自分の画像と相手の画像が表示される
9:00	テレビ会議開始	
	誰かが発言すると、発言者の映像に自動的に切り替わる	
	テレビ会議終了	

▲利用フロー

「導入前にはビデオ会議システムに対して否定的な人も多かったのですが、実際に導入されたシステムを見て良いイメージが浸透しました。導入後は朝礼時だけでなく、各拠点間でのビデオ会議を活用したコミュニ

ケーションも行われています」と、当初は考えていなかったメリットも生じているとのことだ。

## 今後の展開

## 全社員がビデオ会議に参加するコミュニケーション環境の導入を検討

エンタテインメント事業を行う上では、実際に商品を提供する顧客とのコミュニケーションノウハウも重要なポイントという。それだけに日々の業務の中で得た知識を正しく他の社員に伝えるコミュニケーション環境の確立が極めて重要だとのことだ。

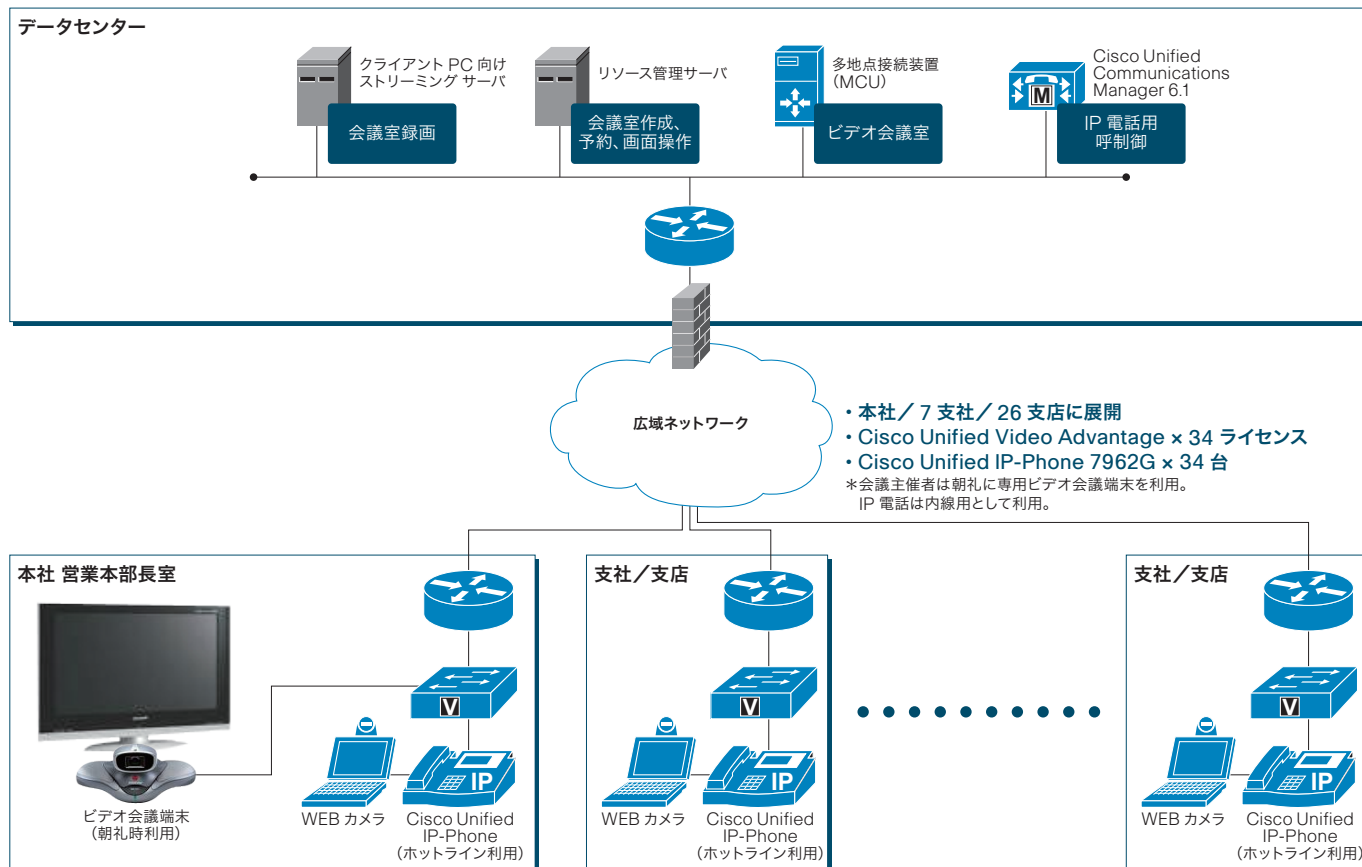
「今は専用の端末が必要ですが、シスコのユニファイド コミュニケーションは携帯電話を使ってビデオ会議に参加することも可能です。最終的には、すべての社員が顔を見ながらコミュニケーションできる環境作りが重要だと考えています」

最後に伊藤氏は、さらにコミュニケーション スピードの向上によって、仕事の質も大きく変化すると語ってくれた。

「まだまだ成長の途中ですが、組織が大きくなるに従って組織運営のあ

り方を考える必要があります。今回導入したシステムは、組織が大きくなってでもコミュニケーションを密にできることから、大きさを感じさせずに自分が会社の一員であることを強く意識できるツールだと考えています。

シスコのユニファイド コミュニケーションを導入したことによって、コミュニケーションのスピードが向上して一人一人に余裕ができて、他のことにチャレンジする時間が生まれました。弊社はその時間を楽しく過ごしていただく商品を提供していますので、実際に自分たちもそういった仕事の仕方をすべきだと考えています。これからも弊社は数あるレジャーの中から、気持ちの高ぶるエキサイティングなものであり、感動するものを提供して行きたいと思います」



## 会社概要

### フィールズ株式会社

本社所在地：東京都渋谷区円山町3番6号E・スペースタワー

資本金：79億4,803万円

従業員数：連結827名 個別628名（2009年3月31日現在）

エンタテインメント性の高い遊技機をはじめ、キャラクターコンテンツ、映像ソフトの企画開発、販売を行う全国規模の流通企業として、エンタテインメント分野に幅広く事業を積極的に展開している。1988年に遊技機の流通商社として設立、2001年にフィールズ株式会社へ社名を変更し、2003年にはジャスダック上場を果たした。

企業理念として「すべての人に最高の余暇を」を掲げ、基幹事業であるエンタテインメント性を追求した遊技機の企画開発及び販売のほか、コンテンツの取得・創出・育成を目指して、ゲーム、スポーツ、映像、アニメ、出版、モバイル等の幅広いエンタテインメント分野に進出している。

国内では本社のほか全国に7支社、26支店の計34拠点を構えており、広い範囲に対応すると同時に、地域に根ざした営業活動を行えるネットワークを構築している。



© カラー © カラー・GAINAX  
© Bisty



© GAINAX・カラー/Project Eva.  
© Bisty

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は 2009 年 5 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯電話・PHS含む)

電話受付時間：平日10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

### お問い合わせ先